

2005年10月26日

株式会社東海理化

(登記社名：株式会社 東海理化電機製作所)

地球環境負荷の少ないマグネシウム溶湯防燃用カバーガスの実用化について

株式会社東海理化(愛知県丹羽郡大口町 取締役社長：木下 潔)は、大陽日酸株式会社(東京都品川区 取締役社長：田口 博)と共同で地球環境負荷の少ないマグネシウム溶湯防燃用カバーガスの実用化研究を重ねた結果、自社音羽工場内のマグネシウムダイカスト製造工程にFK(フッ化ケトン)を主成分とする新開発のカバーガスとその供給装置を国内で初めて導入します。

なお、本件は経済産業省が公募する「地域地球温暖化防止支援事業」の対象となり、審査の結果「平成17年度地域地球温暖化防止支援事業費補助金」が給付されることになりました。

従来、マグネシウムダイカストには溶融マグネシウムの防燃用カバーガスとしてGWP(地球温暖化係数)が二酸化炭素の22,200倍の「SF₆(六フッ化硫黄)」が使用されており、当社はこれまでもその低減活動に取り組んで参りました。今回「SF₆」に代わるガスとして開発された新FKカバーガスはGWPが二酸化炭素とほぼ同等(≒1)で、「SF₆」から代替されることにより、地球環境負荷低減に大きな効果を発揮します。



1. 低減効果

「SF₆」の使用と比較して、約45,000 t/年の温暖化ガス(CO₂換算)相当の削減が可能。

2. 導入計画

2005年10月～：実用化開始(モデルライン1台)

2006年2月～：順次切替え、全ラインに展開

3. 新カバーガス(商品名「エムジーシールド®」)の主な特長

① GWP(地球温暖化係数)≒1

② 「SF₆」と同様の取扱いが可能で同等の防燃効果が得られる。

以上

◆本資料に関するお問い合わせ先

総務部広報室 TEL: 0587-95-8192